

報道関係各位

2024年12月19日

株式会社LIXIL

廃プラスチックと廃木材を融合した循環型素材「レビア」量産化をスタート

株式会社LIXIL（以下 LIXIL）は、再資源化が困難だった廃プラスチックに廃木材を融合させた循環型素材「レビア」の量産化を、2024年12月より久居工場（三重県津市）において開始します。



久居工場（厚生棟）外観



レビアの原料となる廃プラ

「レビア」は、これまで再資源化が困難とされ、焼却や埋め立てによって処理せざるを得なかった複合プラスチックをはじめとするほぼすべての種類の廃プラスチックと、廃木材を融合した循環型素材です。従来は焼却・熱回収されていた資源を再利用する技術により、「レビア」1tあたり約80%のCO₂排出量の削減^{*}につながります。2023年1月に「レビア」製品第一弾となる舗装材「レビアペイブ」の発売を開始して以来、多くのビジネスユーザーさまにその環境へのインパクトと意匠性が評価され、商業施設・オフィス・教育施設などさまざまな場所での採用が進んでいます。

※ レビア1tの製造工程で排出されるCO₂排出量と、同量のレビアに使われる廃プラスチックや廃木材が焼却処理された場合のCO₂排出量を比較

今回、レビアの量産体制を確立した久居工場は、長年サッシ生産を担っており、高度な樹脂押出技術を有しています。また、廃プラスチックの調達においても、廃プラスチックの量が関東圏に続き2番目に多い中部圏に位置しています。樹脂押出技術の専門性、ならびに廃プラスチックの調達において適した久居工場での生産開始により、安定した品質と量産化の実現、さらなる新商品技術開発のスピードアップにつなげていきます。

今回導入したレビア生産設備は、再資源化困難な廃プラスチックを微粉碎する工程と、押出成形をする工程を行う設備です。

LIXIL Housing Technology revia事業部長の宍戸弘昭は次のようにコメントしています。

「廃プラスチックという社会課題に取り組む『レビア』は、多くの場所で使われてこそ、本来の目的である環境負荷低減に貢献することができます。発売から2年あまり経ち、すでにさまざまな場所でご採用いただいておりますが、今後さらなる拡販を目指して久居工場における量産体制をスタートします。舗装材『レビアペイブ』をはじめとした建材での活用はもちろんのこ

と、幅広い製品ラインアップの拡充と、さらなるインパクトの創出に向けて、使用後のプラスチックの調達から、再資源化し、生産、販売、施工、再度回収するまでの、より強固で安定的なエコシステムの構築に努めてまいります」

LIXILはこれからも、「レビア」をはじめとしたイノベーションを通じ、限りある資源を最大限活用し、未来へとつなぐ資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

<参考>

■循環型素材「レビア (revia)」

LIXILでは、多種多様なプラスチックを選別することなく、異なる素材を一括して細かく粉碎、押出成形する技術を確立したことで、複合プラスチックなどの再資源化が難しいと考えられてきたほぼすべての廃プラスチックを、原料として有効利用することを実現しました。レビア1tの製造工程で排出されるCO₂排出量と、同量のレビアに使われる廃プラスチックや廃木材が焼却処理された場合のCO₂排出量を比較すると、82% (1.93t) のCO₂排出量の削減につながります。(算出プロセスについては第三者機関認証取得済み)

廃プラスチックから新たな価値を生み出すレビアは、再資源化率の低さや使用後の廃棄による環境汚染といった世界的な廃プラスチックの課題に対応し、循環型社会の実現に向けた一翼を担う素材となります。

CO₂の排出量を82%削減

従来は焼却・熱回収されてきた資源をリサイクルすることで、レビア1t当たり1.93tのCO₂排出削減*に貢献します。

* 第三者機関スマートエナジーの調査結果

レビア1tに使用される廃プラスチック、
廃木材を焼却した際に排出されるCO₂排出量



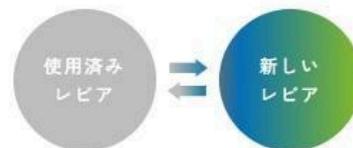
レビア1tの製造過程に排出されるCO₂排出量



水平リサイクルが可能

一度使用したレビア製品を回収し、
新たなレビアとして再利用*することが可能です。

* リサイクルできる回数には限りがあります



再資源化困難な廃プラスチック



廃木材



循環型素材レビア

<循環型素材「レビア」スペシャルサイト> <https://www.lixil.co.jp/lineup/s/revia/>

<舗装材「レビアペイブ」Webサイト> <https://www.lixil.co.jp/lineup/public/reviapave/>

About LIXIL

LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約53,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。

株式会社LIXIL（証券コード：5938）は、2024年3月期に1兆4,832億円の連結売上高を計上しています。

LIXILグローバルサイト：<https://www.lixil.com/jp/>